

第1学年 生活科学習指導案

日時 平成27年10月8日(木)5校時

児童 男子5名 女子3名 計8名

指導者 菊池純子

1 単元名 かぞくにここ大作戦

2 単元について

(1) 指導の目標と教材観

本単元は、生活科の内容(2)「家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。」を受けて設定したものである。

家族はかけがえのない存在であり、家庭は生活の場であるとともに自分を支えてくれる安心できるところでもある。しかしながら、児童にとってあまりにも近い存在であるために、家族に生まれていることの有り難さや家庭の温かさ、家族の大切さ、家族の一員としての自分についてなどはあまり考えたことがないと思われる。本単元で、児童は自分の家族について、調べたり話を聞いたり、家族と共に家の仕事を行ったりする。そうした活動を重ねることで、家族一人一人の良さや家族で過ごす楽しみなど、広く家族や家庭生活を知ることができ、家族の一員である自分の存在への気付きにつながるものと考えられる。

(2) 児童観

児童は、これまで春・夏・秋を通して、生き物を探したり、草花で遊んだりしてきたが、ペアやグループで活動することも多く、友だちと比べて気付いたことを言えるようになってきている。

本単元に際して、家庭の仕事についてアンケートを行った。「おうちで毎日やっている仕事はありますか」の問いでは「はい」が2人(25%)で、「いいえ」が6人(75%)である。やっている仕事はお風呂そうじと、モップがけである。また、毎日ではないが、全員がお手伝いの経験はある。内容はカーテンの開け閉め、食器洗い、米とぎ、風呂そうじ、くつそろえ、料理の手伝い等である。児童のほとんどは、家の人から言われた仕事には素直に取り組んでいるが、自分から積極的に家族のために何かをしようという思いには至っていない。

(3) 指導観

本単元は家庭の理解や協力を得てこそ活動の充実を図ることができる。そこで、活動のねらいを保護者に伝え、連携しながら活動を進めていく。また、「家庭」については「一緒に生活している場」ととらえ、活動を進めるようにする。

また、家庭のみの活動となってしまうと、家庭での経験によるものが大きくなり、そこでの経験が十分でない児童にとっては、目標の達成が難しい。そこで、家族や家庭の仕事についての発表を行ったり、「家族にここ大作戦」後の発表や感想を交流したりすることで、「自分の家族だったら」「自分だったら」と考える契機とさせたい。その気付きが、家族の一員としてよりよい生活をしようとする意欲につながるものと考えられる。

＝気付きの質を高める学習活動＝

- ① 単元を通して、家族について、繰り返し調べたり、話を聞いたりなどする。こうした活動を繰り返すことで、家族の良さや家族の一員である自分の存在に気付かせていく。(繰り返す活動)
- ② 自分の活動や気付きを伝え合う場を設けて、共感したり比べたりさせて、気付きの質を高めていく。(交流する場の工夫)

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

家庭生活やそれを支える家族について関心をもち、調べたり尋ねたりする活動を通して、自分ができることについて考えたり、自分自身の成長を振り返ったりして、家族への感謝の気持ちをもつとともに、家族の一員として意欲的に生活することができるようにする。

(2) 評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ○家族や自分の生活を振り返ることにより、家族の幸せを考え、自分の役割を積極的に果たそうとする。 ○規則正しく健康に気を付けて意欲的に生活しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭生活を支えている家族のことを考える。 ○家族の一員としてできることを考えたり、工夫したり、振り返ったりする。 ○自分のしたことや考えたことを素直に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の生活の様子を観察することにより、家族の温かさや家族の役割について気付いている。 ○様々な役割への挑戦を通して、自分自身の成長に気付いている。 ○健康に気を付けて生活することが大切であることが分かっている。

4 単元の指導計画 (12時間)

時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準及び評価の方法
出会う	1 わたしの手、かぞくの手 ・自分の手を観察し、自分ができるようになったことを振り返る。 2 ・家族の手を調べてこよう。 <u>※家庭での取り組み</u> 家族の手を観察したり、インタビューしたりして、家族	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の手を見ながらどんなことができるようになったか考えさせる。 ・どのような言葉がふさわしいか、学級全体で確かめる。 ・ごつごつしていたり、かさかさしていたりする様子 	【関】 家族のことや家庭での自分の生活を見つめようとしている。(観察・カード)

	<p>3</p> <p>が普段していることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の様子とやっている仕事などを発表する。 ・家族がしていることや、それをしているときにどんな気持ちか、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんは、食器洗いをすると、手がかさかさになるけど、みんなのためにがんばろうと思っている。たいへんだな。 </div>	<p>を触って感じとらせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを丁寧にカードに書くことができるようにする。 ・調べたことに対して、自分が思ったことも発表させる。 	<p>【思】 家族がしている仕事やそれを見た自分の気持ちを素直に表現している。(観察・カード)</p> <p>【気】 家庭生活には、それぞれの果たしている仕事や役割があることに気付いている。(カード)</p>
か か わ る	<p>4</p> <p>2 いえでチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の中で自分にできそうなことや、やってみたいことを決める。 <p><u>※家庭での取り組み</u></p> <p>仕事に取り組む。(4日間)</p> <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で行ったことを発表する準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む前に、必ず家の人と相談するように指導する。 	<p>【思】 家庭生活の中で自分のできることについて考えている。(観察・カード)</p> <p>【思】 友だちに分かりやすく伝えるために必要なものを考えて準備する。(観察)</p>
	<p>6 本 時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で行った仕事について発表し、交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂掃除をすると、ピカピカして気持ちがいい。 ・洗濯たたみをすると「助かった」と言われる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践したことや感想を詳しく交流させる。 ・家族からの手紙を受け取り、家族の役に立ったことや自分の成長を認めてもらったことの嬉しさを味わわせる。 	<p>【気】 自分でできる仕事を自分の役割としてやっていくことの大切さに気付いている。(観察・カード)</p>
	<p>7</p> <p>3 家族にここに大きくせん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の仕事への取り組み方、さらに仕事以外に 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活の仕事に、どのように取り組むことが大事 	<p>【関】 家族のために、自分のできることを行おうとし</p>

		<p>も、家族が喜ぶことを考える。</p> <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大作戦を行うための準備をする。 <p>※家庭での取り組み 大作戦の実行(7日間)</p> <p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が喜ぶためにやったことを発表する準備をする。 <p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にここぞ大作戦でやったことや、分かったことを自分なりの方法で発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私も家族と一緒にすごくをやりたいと思った。 ・家族がにこにこすると、私も嬉しくなった。 </div>	<p>なのか考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事だけに限らず、家族団らんや楽しみなどにも目を向けさせたい。 ・何をどのようにやるのか、計画を立てさせる。 ・どんなものがあると、活動が分かりやすいか、一人一人に考えさせる。 ・家族との団らんや自分がしたで気がついたことを発表できるようにする。 	<p>ている。(観察)</p> <p>【思】自分でできることや家族が喜ぶことを見つけ、家庭生活が楽しくなるように考えている。(観察)</p> <p>【思】友だちに分かりやすく伝えるために必要なものを考えて準備する。(観察)</p> <p>【気】自分の行動が家族を喜ばせていることに気付くことができる。(発表)</p>
ひろげる	<p>11</p> <p>5 これからのわたしと家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の1日の生活を振り返り、生活リズムを大切にしたい「1日の生活表」をつくる。 <p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの自分の生活について、家族への手紙を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・夕飯前に、宿題と音読を終わらせるようにする。 ・お母さんへ これからは、一人で明日の準備をします。応援してください。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・早起きや早寝を一人でできることを目標にさせる。 	<p>【思】家庭における自分の生活を見直している。(観察)</p> <p>【関】家族の一員として継続的に自分の役割を果たしたり、生活リズムを大切に健康に気を付けたりして、これからも生活しようとしている。(観察)</p> <p>【気】規則正しく健康に生活することの大切さが分かっている。(観察・手紙)</p>	

5 本時の指導

(1) 本時の目標

家で行った仕事について交流し、友だちの良さを見つけるとともに、親からの手紙を読み、家族の役に立ったことを実感して、家の仕事への意欲を持つ。

(2) 指導にあたって

- ・発表する場では、話だけではなく道具を使って実演をさせ、聞いた児童のイメージが膨らみ、自分の次の活動に生かそうという意欲がわくように発表させる。
- ・家族からの手紙を読ませることで、家族に喜んでもらえた嬉しさ、役割を果たすことの大切さに気付かせる。

(3) 本時の評価規準

観点	評価規準(評価方法)	努力を要する児童への支援
気付き	自分でできる仕事を自分の役割としてやっていくことの大切さに気付いている。(観察・カード)	家庭で自分がやったことを家族がどのように思っているのか、手紙をじっくりと読ませる。

(4) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点(◎評価 ◇研究)	・準備
出会う 5分	1 本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">いえでチャレンジしたことを はっぴょうしよう。</div>		
かかわる	2 課題を解決する。 (1) いえでチャレンジしたことや分かったことを発表し、友だちと交流する。 ・うまくできなかった時は、どんな気持ちでしたか。 ・お風呂をきれいに洗えましたか。 ・おうちの人に手伝ってもらいましたか。 (2) 気付いたことをみんなで話し合う。	・道具を使って実演させ、聞いた児童のイメージを膨らませることができるようにする。 ◇聞く側は、質問や感想を考えることで、作戦の様子を具体的に想像できるようにする。 ① うまくできたこと ② 困ったこと ③ がんばったこと ④ 家族に言われたこと ・家の人からほめられた言葉を板書し、振り返りにつなげられるようにしたい。 ◇友だちの良さを具体的に発表できるようにする。	・発表用カード ・おたま ・ハンガー ・スポンジ ・ほうき ・モップ ・ちゃわん

28分	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんは、一人でお風呂掃除をしてすごいです。 ・料理の手伝いをしてみたいです。 <p>3 おうちの人からの手紙を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のことをじっくり考えられるように読む時間を十分にとる。 ・数人の手紙を教師が紹介する。 	
まとめ 12分	<p>4 活動を振り返り感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられてうれしい。 ・おかあさん、喜んでいるんだ。 ・これからがんばろう。 <p>5 次時の活動内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の喜びと感謝の気持ちをどう思うのか素直にカードに書くことができるようにしたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◎自分でできる仕事を自分の役割としてやっていくことの大切さに気付いている。(観察・カード)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にこにこ大作戦を予告する。 	<p>・振り返りカード</p>

(5) 板書計画

いえでチャレンジしたことをはっぴょうしよう

したこと	やっているときのきもち
くつそろえ	・きれいになるときもちいい
せんたくたたみ	・ちょっとめんどくさい ・むずかしい
ふろそうじ	・たのしい ・かびがとれない
もっぷがけ	・きれいにやろう ・はやくやろう
ちやわんあらい	・こわさないようにやろう

いえのひとから

- ・たすかるな
- ・えらい
- ・ありがとう
- ・うれしい

ふりかえり

うれしい。やくにたっているんだ。
もっがんばろう。つづけよう。